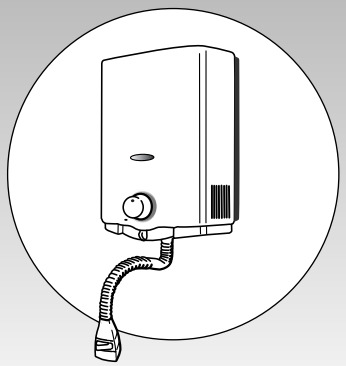
パロマガス湯沸器

家庭用
保証書付



PH-5BS
取扱説明書

特定保守製品

この機器は消費生活用製品安全法で指定された「特定保守製品」ですので、所有者登録と法定点検が必要です。
詳しくは別冊の「安全点検制度に関するお願いちらし」をご覧ください。

このたびはガス湯沸器をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- ●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「取扱説明書」を必ず最初から順番にお読みいただき、よく理解してくださるようお願いいたします。また、この「取扱説明書」をいつでもすぐに取り出せるところに大切に保管しておいてください。
- ●この「取扱説明書」に書かれている内容以外ではご使用にならないでください。
- ●「取扱説明書」を紛失された場合は、お近くのパロマまでお問い合せください。

【換気注意】

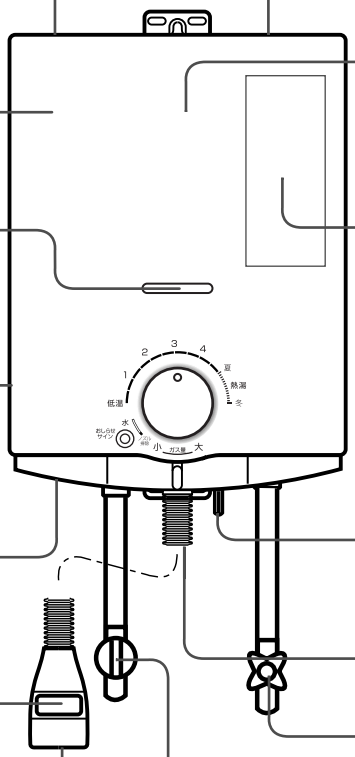
使用中は窓を開けるか換気扇を回すなどして、必ず換気を行ってください。
換気が不十分な状態で使い続けると不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

Paloma

もくじ

各部のなまえ…… 1
安全装置について …… 2
必ずお守りください …… 3
お使いになる前に …… 7
使いかた …… 9
　湯温・ガス調節のしかた…… 10
　熱湯がほしいとき …… 11
　水がほしいとき …… 12
故障かな？と思ったら …… 13
凍結を防ぐには …… 14
点検とお手入れ …… 15
設置工事説明編 …… 17
　開梱および部品の確認…… 18
　機器の取り付けと配管工事… 19
　設置工事後の点検 …… 20
　試運転…… 20
　お客様への説明 …… 20
　外形寸法図…… 20
仕　様…… 21
保管とアフターサービス…… 22
保証書…… 裏表紙

各部のなまえ



排　気　口
燃焼排ガスが出ます。

フロントカバー

点火確認窓
点火・消火を確認します。

給　気　口
燃焼空気の取り入れ口です。

電池ケース

切り替えボタン

キッチンシャワー
お湯・水が出ます。

内蔵型防熱フード

本　体　表　示
使用上の注意について表示します。

銘板・特定保守製品表示
型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者・特定製造事業者等名・設計標準使用期間・点検期間・問合せ連絡先等を表示しています。

水抜き栓
凍結予防のため機器内の水を抜くときにはずします。

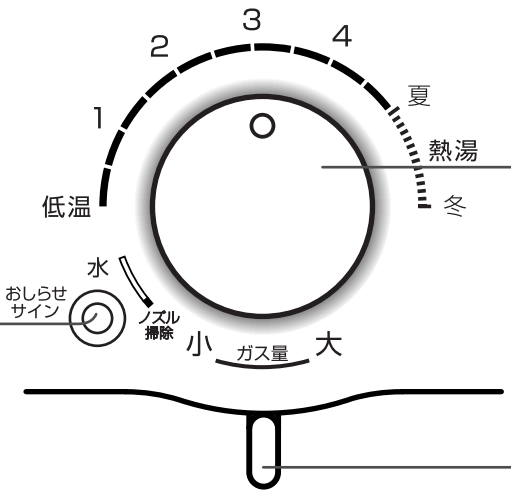
出　湯　管

ガ　ス　栓
ガスの開閉を行います。

給水元栓
水道水の開閉を行います。

操　作　部

特　長
万一、消火（出湯停止）操作を忘れた場合、約10分後に消火する消し忘れタイマー付き。
＊水は止まりません。



操作ボタン
出湯（点火）・出湯停止（消火）・湯温調節・出水・センシングノズルの掃除を行います。

おしらせサイン
点滅時には不完全燃焼防止装置が作動か、点検時期のおしらせを表示しています。
（2ページ参照）
点灯時には乾電池が消耗しています。

ガス量調節つまみ
ガス量を調節します。

安全装置について

安全装置の種類

■消し忘れ防止機能

万一、消火（出湯停止）操作を忘れた場合、約10分後に自動消火します。
※水は止まりません。

■立消え安全装置

炎が風などで消えると、自動的にガスを止めます。

■不完全燃焼防止装置

機器が不完全燃焼するような状態（お部屋の換気不足や熱交換器の目詰まり）になる前にガスを止めます。
作動すると「おしらせサイン」が点滅します。
※点滅している間は機器の使用はできません。

■再点火防止機能（インターロック）

不完全燃焼防止装置が3回連続作動すると、安全のために機器を使用できないようにします。
作動すると「おしらせサイン」が点滅します。

■過熱防止装置

使用中機器内の温度が異常に高くなると、自動的にガスを止めます。

◎安全装置が作動したときの処置方法

途中消火に気付かれたときは、次の処置をしてください。

①すぐに操作ボタンを押して消火の状態にしてください。
②窓や戸を開けて換気をしてください。
③しばらく（約1分）待ってから、操作ボタンを押して点火してください。
④おしらせサインが点滅したり、途中消火が繰り返し起こるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談ください。

おしらせサインについて

おしらせサインの表示		症　状	原　因	処　置
点灯	使用時点灯	点火しない（お湯が使えない）	乾電池が消耗している	乾電池を交換してください。
点滅	使用中に水になると点滅	途中消火（水になる）	不完全燃焼防止装置が作動した	ただちに使用をやめ、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。
	使用時点滅	点火しない（お湯が使えない）	再点火防止機能（インターロック）が作動した	お買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検を依頼してください。
	使用時点滅	通常通り使用できる	点検時期のお知らせ（使用回数が10万回に達した）	

点検時期のお知らせ

ご使用回数が10万回に達したことを「おしらせサイン」が点滅し、お知らせします。故障ではありませんのでご使用できますが、点検（有償）を受けてください。

＊この製品は家庭用ですので業務用のような多頻度・長時間でご使用になると、ご使用後数年で「おしらせサイン」が点滅する場合があります。使用頻度が高い業務用などにご使用の場合は、安全確保のために必ず点検（有償）を受けてください。

安全に正しくお使いいただくために

必ずお守りください

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。

一般的な禁止　火気禁止　接触禁止　分解禁止　高温注意　換気必要　必ず行う

⚠危険

■使用中は換気をする

換気をしないと死亡事故にいたるおそれがあります。

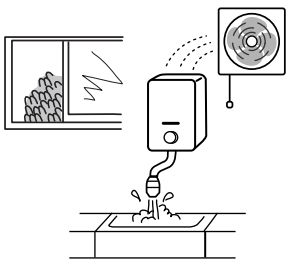
換気必要

締め切った部屋で長時間使用しない
（とくに冷暖房中は注意する）
使用中は窓を開けたり、換気扇を回すなど換気を行う

→換気が不十分な状態で使い続けると不完全燃焼による一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

＊ただし、自然排気式の給湯器および風呂釜を使用している場合は、換気扇を回さずに窓を開けて換気してください。

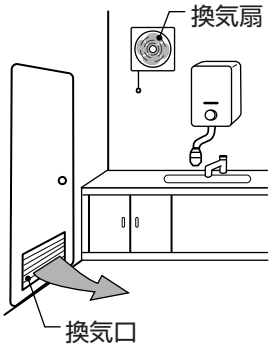
＊特に冷暖房中は換気に注意してください。部屋を閉めきったまま開放型のストーブなどを使用していると、部屋の酸素が減少して不完全燃焼の原因になります。また、このようなときに湯沸器を使用すると不完全燃焼防止装置が作動して消火することがあります。不完全燃焼防止装置が繰り返し作動することにより、機器が使用できなくなります。



＊ガスを完全に燃焼させるには、新鮮な空気（酸素）が必要です。余裕をもった換気（給気・排気）ができる設備（換気口・換気扇など）が必要です。また、給気口・換気口はふさがないでください。不完全燃焼の原因になります。

＊機器に風が直接当たるような状態で使用しないでください。炎があふれて火災の原因になったり、不完全燃焼の原因になります。窓を開けて換気する場合の窓の開けかたや、エアコンなどの風向きにご注意ください。

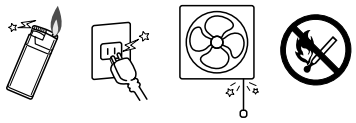
＊換気が十分でも消火する場合は、すぐに使用を中止し、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検・修理を依頼してください。



⚠危険

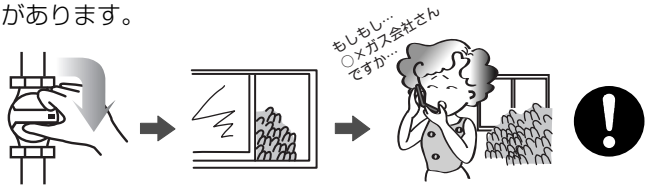
■ガス漏れ時使用厳禁

ガス漏れに気付いたときはガス事業者（供給業者）の処置が終わるまでの間、絶対に火を付けたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺で電話を使用しない



→炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。
　また、メーターのガス栓も閉じる。
②窓や戸を開け、ガスを外へ出す。
③お買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）に連絡する。



■改造・分解禁止

絶対に改造・分解は行わない

→改造・分解は、一酸化炭素中毒などによる死亡事故のおそれがあります。
　また、火災の原因にもなります。

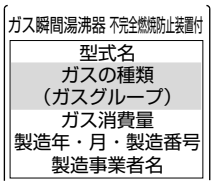
⚠警告

■使用ガスについて

機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)の適合を確認する

→表示のガス種が一致しないと、爆発着火でやけどしたり、機器が故障したり、不完全燃焼防止装置が働く原因になります。特に転居した場合は必ずガスの種類が一致しているかどうか確認する

＊わからない場合はお買い上げの販売店かお近くのガス事業者（供給業者）に連絡する



■ガス接続(ガス事故防止)

この機器はネジ接続です。接続は配管技能者が行う必要がありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

■使用中の外出、就寝禁止

火をつけたまま就寝や外出は絶対にしない

→火災の原因になります。

■機器の設置(および付帯工事)

機器の設置･移動および付帯工事は、必ずお買い上げの販売店に依頼し安全な位置に正しく設置して使用する

■屋内式機器

この機器は屋内式ですので屋外に設置されていないことを確認する

→風により炎が機器の外にあふれて火災のおそれがあります。また雨水の浸入や炎が風にあおられて故障の原因になります。

必ずお守りください

⚠警告

■火災予防

機器の周囲および排気口の上にタオル、ふきんなどを乗せない

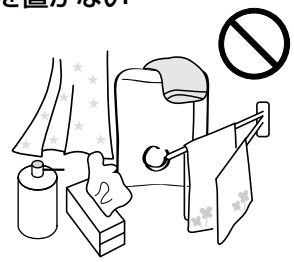
→火災の原因になります。

機器の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを、置いたり、使用したりしない

→引火して火災、やけどのおそれがあります。

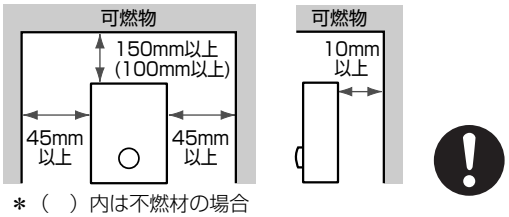
機器の周囲や上にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない

→熱でスプレー缶内の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



火災予防条例により、機器周囲は可燃物から上方は150mm以上、側方は45mm以上、後方は10mm以上離して設置する

→火災の原因になります。



＊（ ）内は不燃材の場合

■やけどに注意

①使用中および使用直後は、操作部、キッチンシャワー以外には手を触れない

→機器が高温になっているため、やけどのおそれがあります。(特に排気口に注意)

②この機器は「熱湯型」なので、熱湯の取り扱いには十分注意する

③使用後すぐにお湯をお使いになるときは、最初熱いお湯が出ることがあるので十分注意する

■異常時の処置

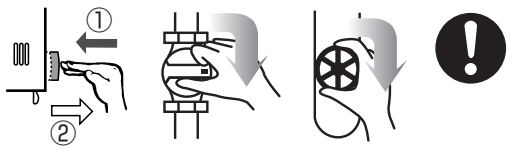
①点火しない場合または使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止し、ガス栓を閉じる

②「故障かな？と思ったら」に従い処置する

③換気が十分でもたびたび火が消える場合は、ただちに使用を中止し点検・修理をお買い上げの販売店かお近くのパロマに依頼する

④上記の処置をしても直らない場合は使用を中止しお買い上げの販売店かお近くのパロマまで連絡する

地震、火災などの緊急な場合は、ただちに使用を中止し、ガス栓および給水元栓を閉じる

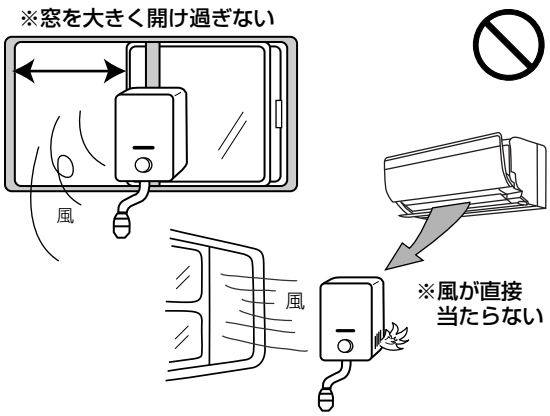


■風に注意

機器に風があたる状態で使用しない

→機器にエアコンなどの風が当たる状態で使用しないでください。風によって爆発点火したり、機器本体の給気口から炎や熱気があふれて、機器背面の壁・網戸・周囲の可燃物などを焦がすおそれがあります。特に窓際に設置されている場合は、機器に直接風を当てないよう窓の開けかたに注意してください。

※安全装置が作動して使用中に消火する場合もあります。



⚠警告

■給気口・排気口の定期点検

機器の給気口・排気口をふさがない

→ふさがっていると火災および不完全燃焼防止装置が働く原因になります。

■フロントカバーをはずさない

フロントカバーは絶対にはずさない

→はずしたまま使用すると、あふれた炎が可燃物に引火して火災になったり、安全装置が働かなくなるおそれがあります。

⚠注意

■用途について

湯沸し以外の用途には使用しない

→思わぬ事故の原因になることがあります。
★この機器は台所での洗い物等、少量のお湯をこまめにお使いになる場合に適しています。

配管給湯（先止め工事・ホースなどで延長）は絶対にしない

→機器内の水圧が上がり、水漏れ等の故障の原因になります。

■温泉水や井戸水･地下水の使用禁止

温泉水や井戸水・地下水を使わない上水道を使用する

→水質によっては機器の破損および水漏れの原因となります。
＊温泉水や井戸水・地下水をお使いになって生じた故障についての修理・補償費用はお客様の負担となります。

■薬品類に注意

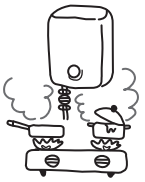
機器と同室内で特殊薬品を使用したり、保管しない

→気化した特殊薬品（パーマ液、アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類など）が機器内に入り、故障や不完全燃焼防止装置が働く原因になります。

■機器の下での燃焼機器の使用禁止

燃焼排ガスの上昇する位置(こんろ・レンジ上方など)には設置しない。やむを得ず設置する場合は湯沸器に有効な防護措置をする

→不完全燃焼防止装置が作動し火がつかない場合があります。また機器の寿命を縮めます。



■断水したときは

断水したときは使用できないので必ず操作ボタンを押して消火の状態にもどす

→もどさないと通水時、勝手に点火してしまいます。

■廃棄の際の注意

機器を廃棄する際は、必ず乾電池を取りはずす

→思わぬ事故の原因になります。

おねがい

■点火・消火の確認

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

■設置場所に対する注意

網戸のある窓を開けて使用した場合、風の流れにより網戸を破損することがあります。網戸の位置に注意が必要です。

■飲用、調理用にお使いのときは

機器や配管内に長時間たまっていた水は飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水、調理用水としてお使いください。

■家庭用製品

この製品は家庭用ですので業務用のような多頻度・長時間の使用をすると、機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有償になります。

■補修用性能部品および補助具について

補修用性能部品および補助具は当社の純正部品以外は使わないでください。当社の純正部品以外のものを使用した場合の機器の故障、事故については、当社では責任を負いかねます。

■スプレー類について

機器と同室内でシリコンを含むスプレー（ヘアスプレー、静電気防止スプレーなど）を使用しないでください。電気部品の故障の原因になります。

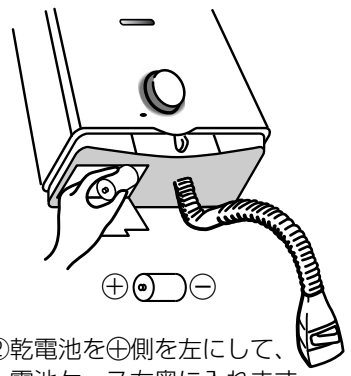
お使いになる前に

おねがい

乾電池の⊕と⊖を逆にして入れると作動しません。

1 乾電池を取り付ける（単1形1.5V 2個）

①機器底面にある電池ケースのフタを開けます。

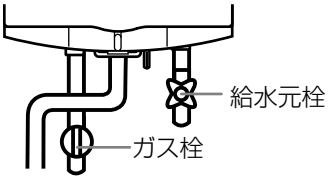


②乾電池を⊕側を左にして、電池ケース右奥に入れます。

③最初に入れた乾電池を右奥に押しながら、2個目の乾電池を⊕側を左にして入れます。
④ケースのフタを閉めて完了です。

2 給水元栓を全開にする

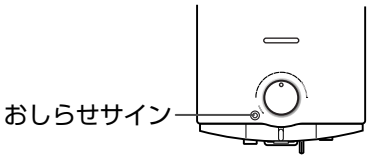
3 ガス栓を全開にする



乾電池が消耗したとき

■おしらせサインが点灯したら、乾電池の交換の時期です。

＊早めに新しい乾電池（単1形 2個）と交換してください。そのままにしておくと使えなくなります。

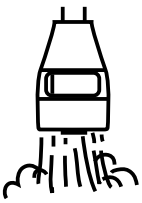


乾電池の寿命は通常の使いかたで約1年です。

おねがい

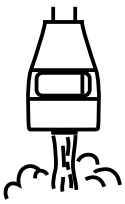
- ●2個とも新しい乾電池を使用し、古いものや違う種類のものを混ぜて使用しないでください。寿命が短くなったり、乾電池が液漏れすることがあります。
- ●付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

キッチンシャワーの使いかた



シャワー出湯

●食器洗いなどに適しています。



ストレート出湯

●熱湯（高温）では必ずストレート出湯に切り替えてください。

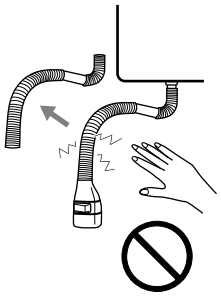
⚠注意

熱湯使用中はキッチンシャワーをシャワー出湯のまま使わない

→熱湯が飛び散り、やけどのおそれがあります。

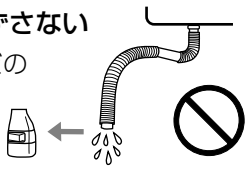
出湯管カバーをはずさない

→使用中、使用直後には出湯管が高温になっており、触るとやけどのおそれがあります。また、熱湯をご使用のときは出湯管口が振れることがありますので手を近づけているときは特に熱湯がかからないようにご注意ください。



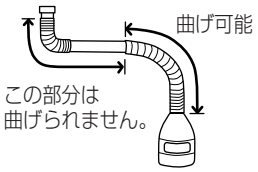
キッチンシャワーをはずさない

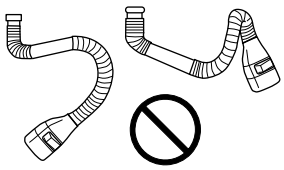
→お湯が飛び散り、やけどのおそれがあります。



出湯管を無理に曲げたり、ねじれを加えない

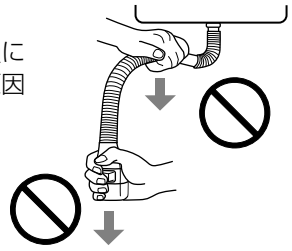
→出湯管の折れや水漏れの原因になります。





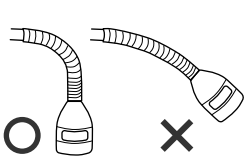
出湯管を引っ張ったり無理な力を加えない

→出湯管接続口の破損による水漏れなどの原因になります。

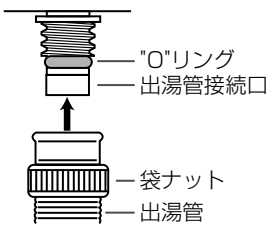


操作ボタンを押して消火しても、キッチンシャワーよりしばらく水がたれることがありますが、故障ではありません。

●キッチンシャワーを真下に向ければ後だれは少なくなります。

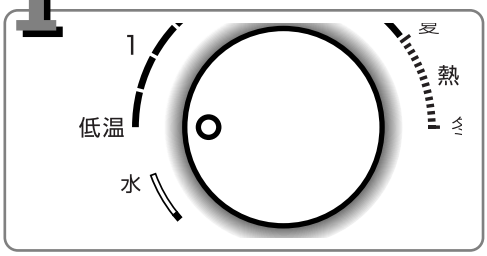


●出湯管接続部の袋ナットがゆるんでいることも考えられます。ゆるんでいる場合は、袋ナットを「カチッ」という感覚があるまでしっかり締め付け、そこからまたさらに最後まで締め付けてください。



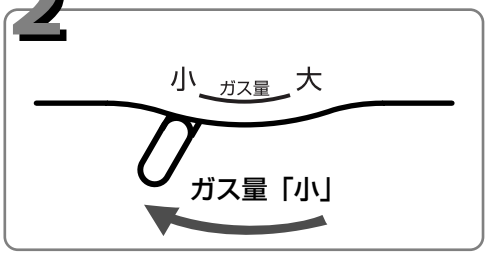
使いかた

1



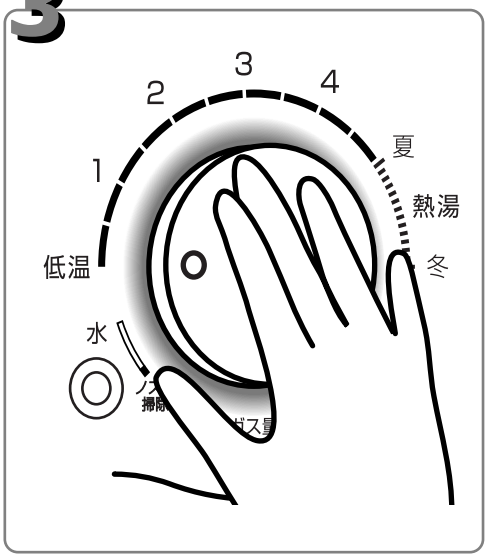
操作ボタンが「低温」の位置にあることを確認する

2



ガス量調節つまみが「小」の位置にあることを確認する

3



操作ボタンの中央を止まるまでいっぱいに押し、静かに手を離す

- ●パチパチ･･･と音がして点火し、お湯が出ます。
- ●点火していることを点火確認窓より確認してください。
- ●次ページを参考にして、お好みの湯温に調節してください。

⚠注意

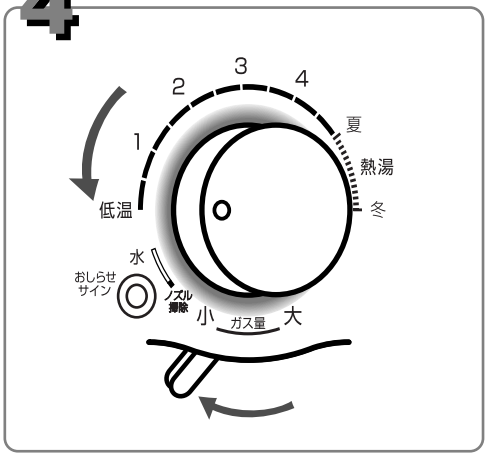
お湯を止めた後すぐに使用するときは、出始めのお湯に触れない

→熱いお湯が出ることがあり、やけどのおそれがあります。

点火していないときは操作ボタンを押して消火の状態にし、しばらく（10～20秒程度）待ってから再度点火操作する（朝一番など時間を長くおいてご使用になるときは、1回の操作で点火しなかったり、すぐに消火することがあります）

→時間を置かずに再度点火操作すると、爆発点火の原因になります。

4



操作ボタンを押し、手を離す

- ●消火してお湯が止まります。
- ●消火したことを点火確認窓より確認してください。

使用後は必ず操作ボタンを「低温」、ガス量調節つまみを「小」にもどす

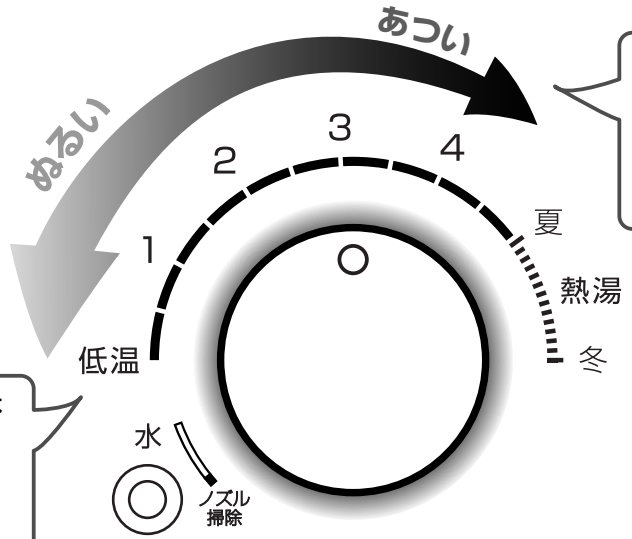
⚠注意

→もどさないと次にご使用のとき、思わぬ高温のお湯が出てやけどのおそれがあります。

＊燃焼中、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

●長時間使用しない時は、ガス栓、給水元栓を閉めておきます。

湯温の調節のしかた



あつくするときは右へ回します

●湯量が少なくなります。

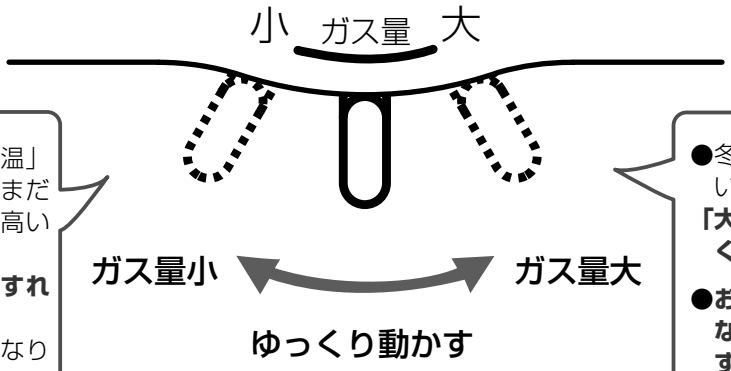
ぬるくするときは左へ回します

●湯量が多くなります。

●熱湯の出しかたは11ページ
●水の出しかたは12ページ

ガス量の調節のしかた

湯温調節をした後、さらにガス量を調節することできめ細やかな温度に対応できます。



操作ボタンが「低温」の位置にあってもまだ熱いとき（水温の高い夏期など）は**ガス量を「小」にすればぬるく**なります。ガス代の節約にもなります。

●冬季など水温の低いときは**ガス量を「大」にすればあつく**なります。

●**お湯が多めに必要なときや、高温にするときはガス量を「大」**にします。

使いかた・熱湯がほしいとき

⚠警告

キッチンシャワーから蒸気やお湯が吹き出るような状態で使用しない
そのときはただちに操作ボタンを押して消火する
→熱湯が飛び散り、やけどのおそれがあります。

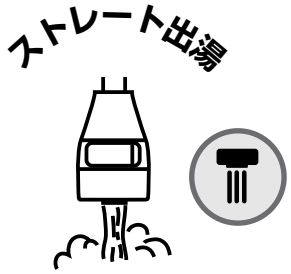
熱湯がかからないように注意する
→やけどのおそれがあります。

⚠注意

熱湯使用中はキッチンシャワーをシャワー出湯のまま使わない
→熱湯が飛び散り、やけどのおそれがあります。

熱湯使用中はキッチンシャワーに触れない
→熱湯が飛び散りやけどのおそれがあります。

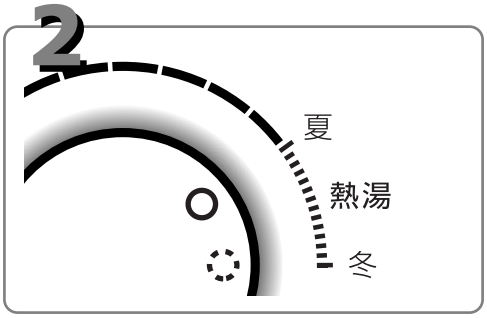
使用後は必ず操作ボタンを「低温」、ガス量を「小」にもどす
→次にご使用のとき、熱湯が出てやけどのおそれがあります。



●熱湯（高温）では必ずストレート出湯に切り替えてください。

1 キッチンシャワーをストレート出湯に切り替える

2



操作ボタンを「夏」または「冬」にする

●水温の高い季節（春から秋にかけて）は「夏」、水温の低い季節（冬）は「冬」をめやすにします。

3 ガス量を「小」にする

4 操作ボタンを押して点火する

5 ガス量を少しずつ「大」の方向へ動かし、好みの湯温に調節して使う

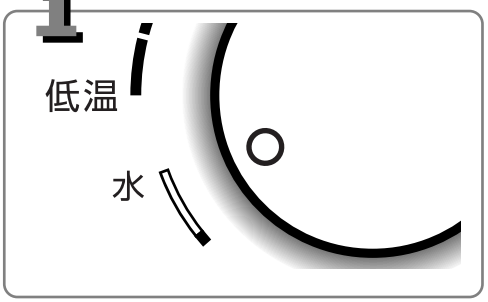
6 消火後、操作ボタンを「低温」、ガス量を「小」にもどす

水がほしいとき

おねがい

出湯中の場合は操作ボタンを押して消火してください。
操作ボタンが押されている状態では、操作ボタンは「低温」より左に回りません。

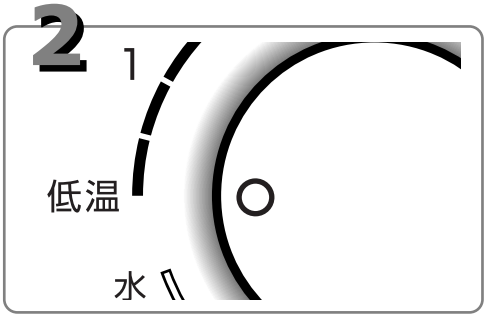
1



操作ボタンを「水」にする

●水が出ます。

2



止めるときは「低温」にもどす

おねがい

水を止めた後すぐに操作ボタンを押した場合、点火しないことがあります。
操作ボタンを押して消火の状態にし、数秒間待ってから再度点火操作してください。

故障かな？と思ったら

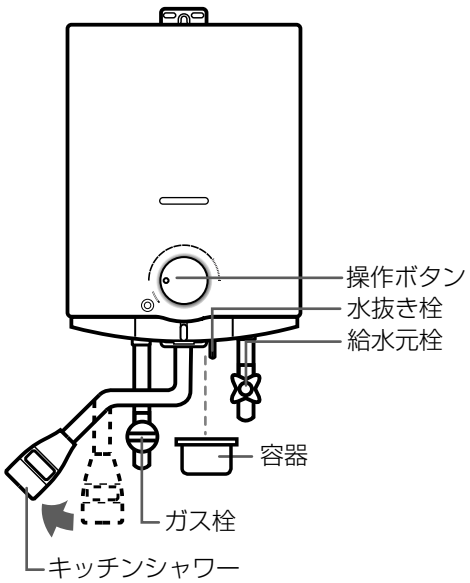
故障かな?と思ったら、次のことをお調べください。下記の現象に当てはまらないとき、また処置をしてもなお異常があるときは、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

現象		原因	処置方法	参照ページ
点火しない	水は出ている	ガス栓が閉めてある	ガス栓を全開にする	7
		ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	7
		給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	7
		点火操作が不適切	「使いかた」に従う	9/10
		ガス配管に空気が残っている	点火操作を繰り返す	9
		センシングノズルの詰まり	お手入れをする	16
		水抜き栓を確実に締め込んでいない	確実に締め込む	14
		LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	−
	水も出ない	給水元栓が閉めてある	給水元栓を全開にする	7
		点火操作が不適切	「使いかた」に従う	9/10
		断水している	使用をいったん中止する	6
		凍結している	解凍するまで使用を中止する	−
使用中に消火する	水は出ている	ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	7
		給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	7
		ガス配管内に空気が残っている	点火操作を繰り返す	9
		センシングノズルの詰まり	お手入れをする	16
		安全装置が作動している	「安全装置が作動したときの処置方法」に従う	2
		消し忘れタイマーが作動している		
		LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	−
	水も止まる	断水している	使用をいったん中止する	6
黄色の炎で燃える		LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	−
高温のお湯が出ない		ガス栓の開き不十分	ガス栓を全開にする	7
		湯温調節が不適切	「使いかた」に従う	9/10
		水抜き栓を確実に締め込んでいない	確実に締め込む	14
		LPガス使用の場合、LPガスがなくなりかけている	ボンベを交換する	−
低温のお湯が出ない		給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	7
		湯温調節が不適切	「使いかた」に従う	9/10
高温では点火するが低温ではしない		給水元栓の開き不十分	給水元栓を全開にする	7
		水抜き栓を確実に締め込んでいない	確実に締め込む	14
おしらせサインが点灯		乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換する	7/8/15
おしらせサインが点滅		不完全燃焼防止装置が作動している	「安全装置が作動したときの処置方法」に従う	2
		ご使用回数が10万回に達した	点検（有償）を受けてください	2
出湯停止後「チリチリ」という音がする		熱による膨張・収縮による音で、異常ではありません。		

凍結を防ぐには

冬期には機器や配管内の水が凍結し、機器を破損することがあります。おやすみ前や、また日中でも凍結のおそれのある厳寒期には、機器の使用直後に必ず水を抜いてください。水抜きせずに凍結して機器や配管を損傷させたり、凍結による水漏れにより床・壁等を汚した場合の修理・補修費用はお客様の負担になります。

水の抜きかた



1.ガス栓を閉めます。

2.給水元栓を閉めます。
（不凍栓使用時は、不凍栓を閉じ、給水元栓を全開にします）

3.操作ボタンを「低温」にします。

4.キッチンシャワーをストレート出湯にし、少し傾けておきます。

5.水抜き栓より水が流れますので、容器を用意します。

6.水抜き栓を左に回してはずし、水を抜きます。

7.操作ボタンを「低温」から「水」にします。

8.排水完了後、キッチンシャワーを5、6回振り、キッチンシャワー内の残水を排出します。

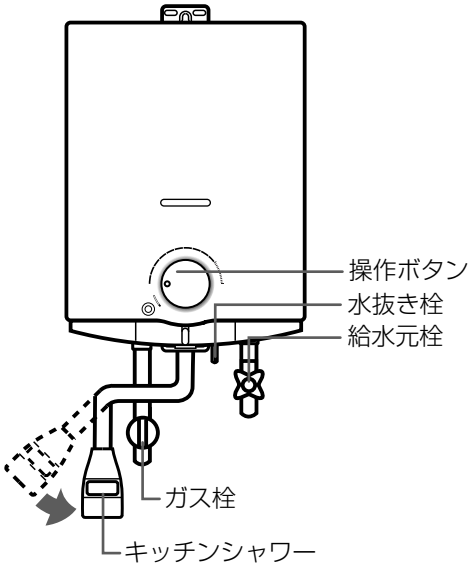
再度使用するまでそのままにしておきます。

●3および7の操作を誤ると、水抜きできずに凍結する場合がありますので、確実に操作してください。

●給水配管も凍るおそれのあるときは、不凍栓などで配管内の水を抜いてください。

●給水配管の凍結予防は、水道事業者へ依頼してください。

水抜き後の使いかた



1.水抜き栓を締め込みます。

おねがい

水抜き栓は確実に締め込んでください。
締め込み不足の場合、水漏れしたり、
高温のお湯が出ないことがあります。

2.キッチンシャワーを垂直にもどします。
（後だれを少なくするためです）

3.操作ボタンを「熱湯」にします。

4.給水元栓を開けます。

5.操作ボタンを押して、キッチンシャワーより水が出ることを確認します。

おねがい

操作ボタンが通常の動きより重くなっていたり動かない場合、または「熱湯」で通水しない場合は、凍結していますので解凍するまで使用しないでください。

6.再度操作ボタンを押して水を止め、「低温」にします。

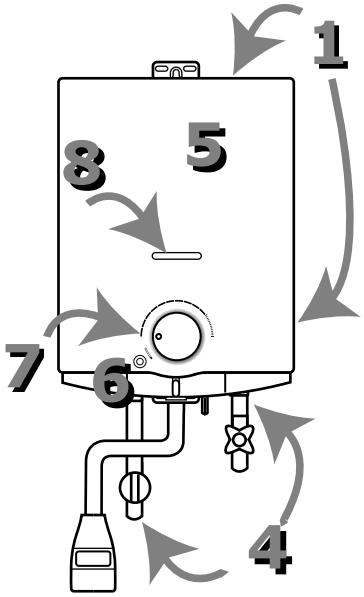
7.ガス栓を開けて使用します。

点検とお手入れ

●日常の点検・お手入れは必ず行ってください。
●故障または破損したと思われる場合は使用しないで、お買い上げの販売店かお近くのパロマまで点検・修理を依頼してください。
●お手入れの際には必ずガス栓を閉め、機器が冷えてから行ってください。
●お手入れの際、指先には十分注意してください。

点検のポイント（ご使用のたびに）

1	給気口・排気口を異物やほこりでふさいでいませんか?
2	機器のまわりに燃えやすいものはありませんか?
3	運転中に異常音は聞こえませんか？
4	機器配管からガス漏れ・水漏れはありませんか?
5	外観に変色等の異常はありませんか?
6	乾電池は消耗していませんか？ おしらせサインが点灯する場合は、乾電池が消耗していますので取り替えてください。（7、8ページ参照）



（月に2～3回）

7	湯温調節を長い間同じ位置にしていませんか? 湯温調節は水垢等により動かしにくくなることがありますので、月に 2 ～ 3 回程度湯温調節の範囲内で操作ボタンを回してください。
8	センシングバーナのノズルが汚れていませんか? 長期間使用すると点火しにくくなったり、使用中に消火することがあります。（次ページ参照）

定期点検のおすすめ

より長く安全にお使いいただくために、2年に1度程度（使用頻度の高い場合は1年に2回程度）の定期点検を受けられることをおすすめします。お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご相談のうえ、お申しつけください。（有償）

＊この機器は家庭用ですので業務用のような多頻度・長時間でご使用の場合は、安全確保のために必ず定期点検を受けてください。点検に関する費用は保証期間内でも有償となります。詳しくはお買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。

お手入れのしかた（月に１回程度）

本体

水気をかたくしぼったやわらかい布に台所用中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた布で水気を十分ふき取る

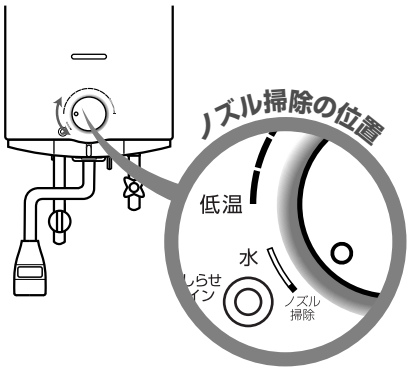
おねがい

シンナー、ベンジンや酸性・アルカリ性洗剤は使わないでください。機器損傷の原因になります。印刷・塗装面にはみがき粉、たわしなど固いものは使わないでください。表面を傷付けます。

センシングバーナのノズル

点火しにくくなったり、使用中に消火するような場合は掃除する（月に2～3回）

①ガス栓、給水元栓を閉めます。
②操作ボタンを押して消火の状態にし、左に止まる位置まで回しきる操作を数回行います。
③操作後は「低温」に戻し、ガス栓、給水元栓を開け点火操作し、正常に燃焼することを確かめてください。



キッチンシャワー

水垢等でキッチンシャワーが目詰まりした場合は掃除する

細いピンか針金のようなもので、穴を変形させないように掃除します。

● キッチンシャワーははずさない

設置工事説明編（工事をされる方へ）

特定保守製品

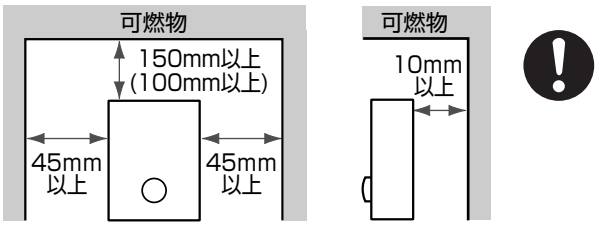
●この機器は、消費生活用製品安全法（消安法）で指定された**特定保守製品**です。所有者への引渡し時に以下の説明をお願いします。
・この製品を引き渡しする際に所有者に対し点検期間中に点検を行うことが必要である事など製品に同梱されている「所有者票」に記載されている法定説明事項の内容を説明願います。
・特定製造事業者等に所有者情報の提供（登録・変更）等とその協力が必要です。登録や変更をしていただくようその必要性を伝えてください。
・上記のお客さまへの説明が終わりましたら、所有者票を販売事業者へ渡してください。

⚠危険

●この機器を安全に正しく設置していただくために、以下の内容をご理解いただいてから工事を行ってください。
●換気（給気、排気）が得られる所に設置する。浴室内へは絶対に設置しない。換気が不足して死亡事故にいたるおそれがあります。

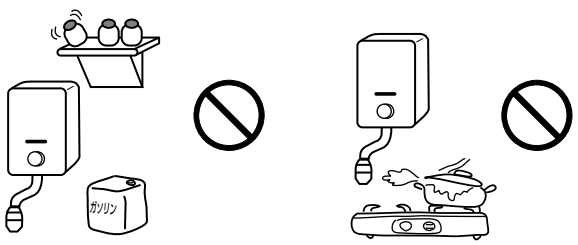
⚠警告

●必ず、銘板に表示されたガス種を使用してください。ガス種が異なりますと、火災や機器の破損の原因となることがあります。
●ガス配管工事は専門の資格技術が必要です。液化石油ガス設備士かガス供給事業者の指定工事店が行ってください。
●ガソリン、ベンジン、接着剤、スプレーなどの引火性危険物を扱う場所には設置しない。引火して火災になることがあります。
●火災予防条例により、機器周囲は可燃物から上方は150mm以上、側方は45mm以上、後方は10mm以上離して設置する。これ以下ですと火災になることがあります。

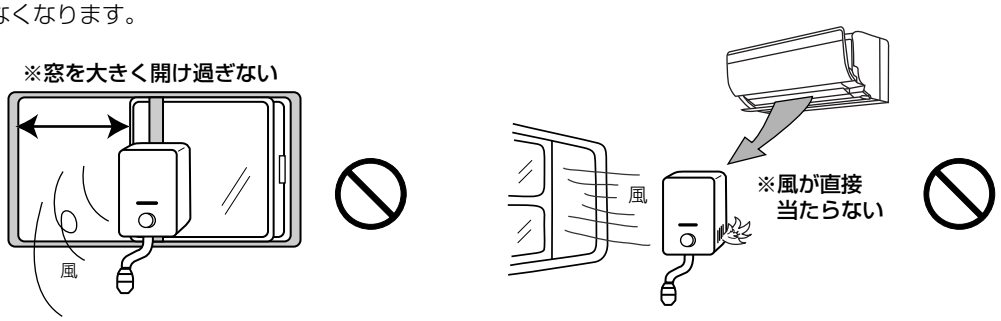


＊（　）内は不燃材の場合

●棚の下など落下物が有り得るところには設置しない。火災の原因となります。



●冷暖房機の冷・温風が直接当る場所や、風が吹き込むところへは設置しない。風によって爆発点火したり、機器本体の給気口から炎や熱気があふれて、機器背面の壁・網戸・周囲の可燃物などを焦がすおそれがあります。また、不完全燃焼防止装置が働く原因にもなり、不完全燃焼防止装置が繰り返し作動することにより機器が使用できなくなります。

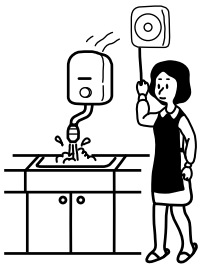


⚠注意

●工事内容に応じた安全策（安全靴、安全帽、手袋の着用等）を講じて作業を行ってください。
●給水配管工事は給水条例に従い、水道事業者の指定工事店が行ってください。また、配管材料は水道局の承認品か検査合格品を使用してください。守りませんと飲用に適さなかったり、水漏れすることがあります。
●機器上方が150mm以上離れていても、400mm以内の上面、後面が塗装面、ビニールクロス、一部が樹脂製の吊り戸棚、薄いベニヤ等の場合は排気熱により変形、変色することがあります。石膏ボード等で有効な防護を行ってください。
●換気（給気、排気）が十分得られるところに設置するか給気口と換気扇を設けてください。
①換気扇の大きさは同時に使用される機器の合計ガス消費量1.16kW当り43.2m³／h以上必要です。換気扇の大きさは下表を参考にしてください。

換気扇の羽根径(cm)	機器合計ガス消費量 kW
15	12.1以下
20	16.1以下
25	24.2以下

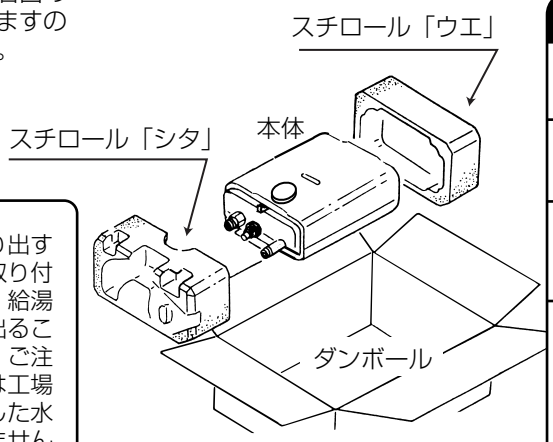
②本機器はできるだけ換気扇連動スイッチ（別売）と接続してご使用ください。
③給気口の大きさは、有効面積でガス消費量1.16kWあたり10cm²以上必要です。本機器のみの場合は100cm²以上です。



●特殊薬品（パーマ液、アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類等）を扱う場所には設置しないでください。機器が破損することがあります。
●この機器は屋内用です。屋外には設置しないでください。雨、風、雪や凍結により機器が破損します。
●機器の周囲には、火災予防上のスペースの他、メンテナンス用として前方600mm以上、側方200mm以上離してください。
●燃焼排ガスの上昇する位置（こんろ・レンジ上方など）には設置しないでください。やむを得ず設置する場合は湯沸器に有効な防護措置をしてください。不完全燃焼防止装置が作動し火がつかない場合があります。また機器の寿命を縮めます。

1.開梱および部品の確認

本機器の梱包には右図の部品が納めてありますのでご確認ください。



残水注意

機器を梱包から取り出すときおよび機器を取り付けるときに、給水・給湯接続口より残水が出ることがありますので、ご注意ください。残水は工場出荷検査時に使用した水で、異常ではありません。

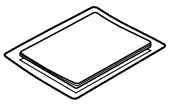
標準付属部品

- 丸木ねじ3本（φ4.8×16）

- 単1乾電池 2個

- 出湯管セット

- 取扱説明書
- 所有者票
- 安全点検制度に関するお願いちらし
- 個人情報保護シール



別売部品のご案内

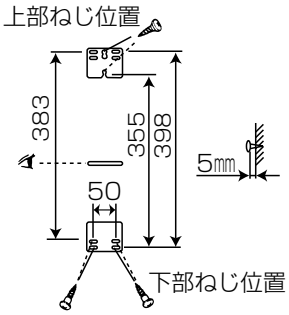
● 湯沸器取付金具 ―― 取り付け面が窓になるときにご利用ください。
● 換気扇連動スイッチ（＋機器本体の検出部組立） ―― ご使用時に自動的に換気扇を回します。
● 出湯管・出湯管カバー ―― 35cm～1mまでの長さ違いがあります。
● 遮熱板（防熱板） ―― ＊詳細はお求めの販売店までおたずねください。

設置工事説明編(工事をされる方へ)

2.機器の取り付けと配管工事

機器の取り付け

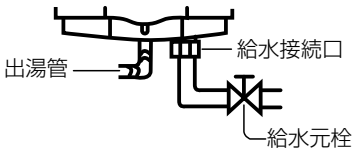
●取り付けの高さ
点火確認窓の高さがおよそ目の高さくらいの位置が一番便利です。



●機器の設置
機器の重さは5.2kgです。

①上部ねじ位置に丸木ねじをはめ込み、設置面（壁柱等）に右のように約5mm空けて設置する。

②ブラケット上部中央の孔を①の丸木ねじに引っ掛け、奥まではめ込み、①の丸木ねじを締め付け後、下部2箇所を丸木ねじにて固定してください。



●湯沸器には大変精巧な装置がついています。
湯沸器までの配管が終わり湯沸器に接続する前に必ず、水を流し配管内のごみ、砂、糸くず、シール剤などを流し去った後接続してください。

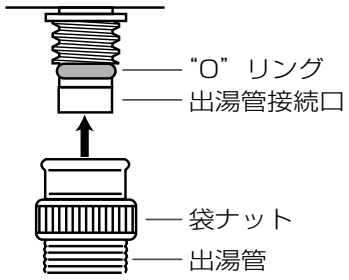
部品の取付け

●乾電池の取付け
電池ケースは機器下面左側にあります。乾電池を梱包より本書の7ページの「乾電池を取付ける」項に従い、電池ケースに入れてください。
＊付属の乾電池は工場出荷時に納めていますので、自己放電により寿命が短くなっている場合があります。

●出湯管の取り付け

①機器下面中心の出湯管接続口に“O”リングが取り付けられていることを確認してください。

②出湯管を出湯管接続口に差し込み、袋ナットを「カチッ」という感覚があるまでしっかりと締め付け、そこからまたさらに最後まで締め付けてください。



給水接続工事

●給水接続径はR1/2（15A）です。

●給水部には必ず給水元栓を取り付けてください。保守点検に必要です。

●供給水圧は60.0kPa（0.6kg/cm²）以上としてください。

ガス接続工事

●ガス接続工事は、ガス供給業者または有資格者にご依頼ください。

●ガス接続部はねじ接続であり、金属管またはＬＰガスの場合は金属フレキシブルホースか液化石油ガス用継手金具付低圧ホース、都市ガスの場合は金属可とう管か強化ガスホースでの接続をお願いします。

●ガス接続径はR1/2（TU）です。

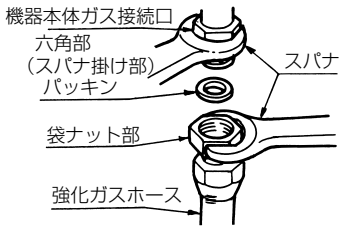
●ガス接続元には、必ずガス栓を取り付けてください。保守点検に必要です。

●接続するときは、本体の六角部にもスパナを掛け、本体に無理な力が加わらないように締め付けてください。

●強化ガスホースで接続する場合

①強化ガスホースの曲げ半径は90mm以上としてください。

②袋ナットを締め付けるとき、強化ガスホースがねじれないようにしてください。



3. 設置工事後の点検

● チェックリスト

点検項目	点　検　内　容	参照ページ	チェック
機器の適合	銘板（ガス種）は使用ガス種に適合していますか。	4、17	
機器およびその周辺	可燃物との離隔距離および防火措置は十分ですか。	17	
	日常の使用および点検に支障はありませんか。	15、16	
	同梱部品等の取り付け状態は正しく行いましたか。	18、19	
	機器の設置場所は適切ですか。	17	
	機器は堅固に取り付けられていますか。	19	
換気設備	換気扇は取り付けられていますか。	18	
	十分な給気ができる設備がありますか。	18	
給水接続	給水圧は十分ありますか。	19	
	適切な材料が使用されていますか。	18	
	接続部の水漏れはありませんか。	19	
	給水元栓は取り付いていますか。	19	
ガス接続	ガス接続は正しく施工されていますか。	19	
	ガス漏れはありませんか。	19	
	ガス栓は取り付けてありますか。	19	

4. 試運転

●3の「設置工事後の点検」に異常がなければ試運転を行います。本書の9ページ～12ページの「使いかた」に従い、正常に作動することを確認してください。

●試運転が終わりましたら、お客様がすぐに使用される場合を除き、ガス栓を止め、本書の14ページに従い、水を抜いておいてください。水を抜きませんと、冬期には凍結し、機器が破損することがあります。

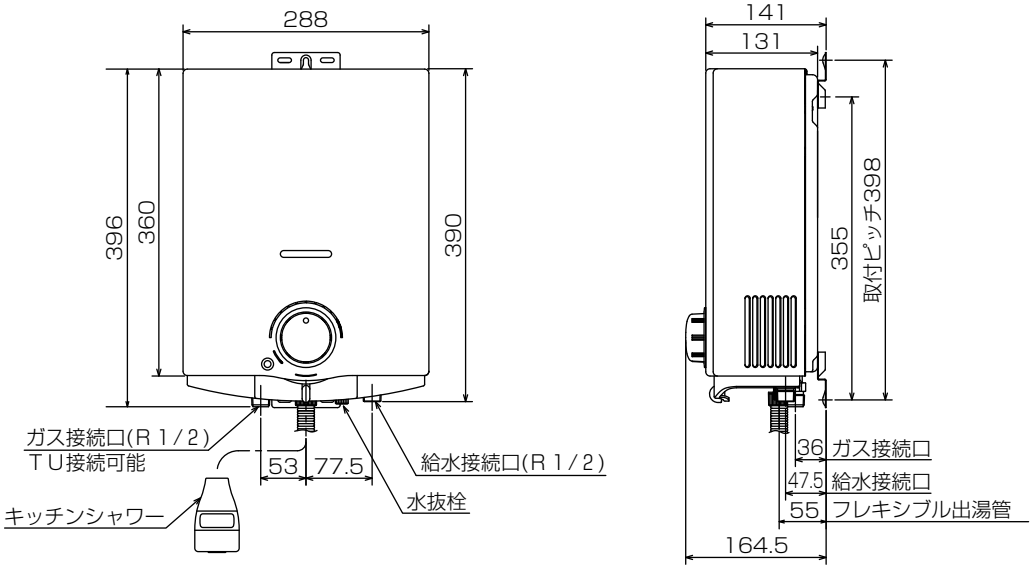
5. お客様への説明

●ご使用方法を本書に従いお客様へ説明してください。また、本書をお客様ご自身が必ずお読みになり、ご理解したうえで、ご使用になるよう説明してください。

●本書の裏表紙の保証書に関する事項をお客様に説明してください。

●本書は必ずお客様へお渡しください。また、すぐに取り出せるところに大切に保管するよう説明してください。引っ越しなどで機器を移動する際にも必要になります。

6. 外形寸法図



仕　様

品　名		PH−5BS	質量（本体）		5.2kg
型式名		下記参照	接続	ガス	R1/2（TU）ねじ
器具名		下記参照		給水	R1/2（15A）
種類	給湯方式	元止め式	安　全　装　置		
	給排気方式	開放式	立消え安全装置･過熱防止装置･不完全燃焼防止装置 再点火防止機能（インターロック）		
点火方式		連続スパーク点火			
適正使用水圧		60.0〜1000kPa	標　準　付　属　部　品		
最低作動水圧	低温	35.0kPa	出湯管セット（キッチンシャワー付）（1） 単1乾電池（2）・丸木ねじ（3）・取扱説明書（1） 所有者票（1）・個人情報保護シール（1） 安全点検制度に関するお願いちらし（1）		
	高温	25.0kPa			
外形寸法		高さ360×幅288×奥行141mm			

使用ガス･ガスグループ			型式名	器具名	ガス消費量 kW	出湯量(最大)L/分 {(水圧100kPa)(1kg/cm²)}	
						25℃上昇	40℃上昇
都市ガス用	12A		Q1-1-11	PH-5BS-1	9.80	4.7	2.9
	13A		Q1-1-11	PH-5BS-1	10.5	5.0	3.1
	L1（6B,6C,7C用）	6C標準	Q1-1-12	PH-5BS-1(6)	10.5	4.9	3.0
		6B7C標準	Q1-1-11	PH-5BS-1	10.2	4.8	3.0
	L2（5A,5AN,5B用）		Q1-1-11	PH-5BS-1	10.2	4.8	3.0
	L3（4A,4B,4C用）		Q1-1-11	PH-5BS-1	10.2	4.7	2.9
	6A		Q1-1-11	PH-5BS-1	10.5	5.0	3.1
	5C		Q1-1-11	PH-5BS-1	10.2	4.7	2.9
LPガス用			Q1-1-11	PH-5BS-1	10.5	5.0	3.1

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することもあります。

保管とアフターサービス

保管（長期間使わないとき）

①水抜きします。(「凍結を防ぐには」14ページ参照)
②乾電池を取り出します。（液漏れ防止のため）

アフターサービスについて

点検・修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」を見てもう一度確認し、それでも直らないときは、お買い上げの販売店かパロマサービスコールセンターまでご連絡ください。パロマサービスコールセンターは24時間受付いたしますので、ご利用ください。

なお、アフターサービスをお申しつけのときは右記のことをお知らせください。

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 現象(できるだけ詳しく)
- 品名・器具名(銘板表示のもの)
- ご購入日・ガス種
- 道順・目標

修理についてのお問い合わせは	パロマサービスコールセンター **0120-193-860**	受付時間：24時間修理受付

商品について不明な点はパロマお客様相談室までご連絡ください。

商品についてのお問い合わせは	パロマお客様相談室 **052-824-5145** 〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号	受付時間：平日　8：30～18：00 （土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

お近くの下記サービスセンターでのお問い合わせも受付しております。

【各地区のサービスセンター】 受付時間：平日　9：00～18：30（土・日・祝日・弊社指定定休日を除く）

ご相談窓口	住所	TEL	FAX
北海道サービスセンター	〒001-0033 札幌市北区北３３条西７丁目１－１	011-726-2822	011-736-7374
東　北サービスセンター	〒983-0041 仙台市宮城野区南目館２０－１０	022-239-1848	022-238-0838
首都圏サービスセンター	〒114-0015 東京都北区中里3－11－9大平中里ビル2階	03-6858-8600	03-6858-8601
中日本サービスセンター	〒467-8585 名古屋市瑞穂区桃園町６－２３	052-824-5101	052-824-5385
近　畿サービスセンター	〒550-0013 大阪市西区新町3-13-20パロマアワザビル2階	06-6534-6751	06-6534-6755
中四国サービスセンター	〒732-0804 広島市南区西蟹屋３丁目８－１２	082-262-8341	082-263-2400
九　州サービスセンター	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南２－９－１３	092-472-0924	092-471-8400

＊住所・電話番号などは変更することがありますのであらかじめご了承願います。

補修用性能部品の保有期間について

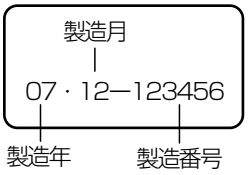
補修用性能部品は製造打ち切り後6年間保有しております。
長年のご使用でいたんだ場合にはお買い求めください。

ガスの種類が変わるとき

ご贈答、転居等によりガスの種類が変わるときは、ガス器具の調整が必要となりますので、お買い上げの販売店かお近くのパロマまでご連絡ください。
この場合、費用は保証期間中でも有料となります。

製造年月について

製造年月は本体貼付けの銘板でお確かめください。



保 証 書

品　名	PH-5BS　　ガス湯沸器

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な設置･使用状態において万一機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書､本体貼付けラベル等の注意書きに従った正常な設置･使用状態で故障した場合には､お買い上げの販売店かお近くのパロマが無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は､お買い上げの販売店かお近くのパロマにご依頼のうえ､本書をご提示ください｡なお､離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には､お近くのパロマへご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 取扱説明書によらないでご使用になったり使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動（取付工事依頼の必要な機器の場合）､落下等による故障および損傷
   (ハ) 公害、火災、水害、地震、落雷、凍結等の天災地変、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入、異常電圧（電気部品搭載の機器の場合）、供給事情（燃料・給水等）などによる故障および損傷
   (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用使用、車輌、船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (ヘ) 消耗部品の取替えおよび保守等の費用
   (ト) 本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (This warranty is valid only in Japan.)
7. 本書は再発行致しませんので､紛失しないように大切に保管してください。

お客様	お名前　　様	保証期間	お買い上げ　　年　　月　　日から1年
	ご住所　〒	販売店名	店名
			住所
	お電話		電話番号

株式会社 パロマ
〒467-8585　名古屋市瑞穂区桃園町6番23号
TEL 052（824）5145

修 理 記 録

年　月　日	修 理 内 容	サービス員 ㊞

＊この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。なお、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店かお近くのパロマにお問い合わせください。
＊保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

22. 11. ④ H 31 96679